

# キリ「玉植苗」は初期成長を損なわずに小型化できる

福島県林業研究センター 森林環境部

部門名 林業－特用林産－栽培方法

担当者 大竹由起

## I 新技術の解説

### 1 要旨

当センターでは、キリポット苗の地上部を切除し根系部分のみを植栽する玉植苗を開発した(図-1)。外径 40cm のポットで育苗した大型の玉植苗(根鉢サイズ 18L)は、定植後の初期成長が良好である一方、根鉢サイズが大きく運搬時等の労務負担が課題となっている。そこで、外径 30cm のポットで育苗した中型の玉植苗(根鉢サイズ 8L)を作成し、大型の玉植苗と定植 1 年後の成長を比較した。その結果、中型の玉植苗の定植 1 年後の平均樹高は、大型の玉植苗に劣らず、既報と今回の結果から、初期成長を損なわずに 1/2 程度まで玉植苗を小型化できることが分かった。

- (1) これまでに、外径 40cm のポットで育苗した大型の玉植苗と、外径 22cm のポットで育苗した玉植苗で比較した場合、定植 1 年後の平均樹高は大型の玉植苗の方が良好となることが確認されている(主な参考文献(1))。
- (2) 外径 40cm のポット(図-2(左))で育苗した大型の玉植苗と、外径 30cm のポット(図-2(右))で育苗した中型の玉植苗を定植し、当年成長終了後に樹高を測定した。その結果、中型の玉植苗の定植 1 年後の平均樹高は大型の玉植苗に劣らなかった(図-3、4)。

### 2 期待される効果

- (1) 玉植苗の小型化により、出荷時の梱包、定植時の運搬等の労務負担が軽減される。

### 3 適用範囲

- (1) 県内のキリ苗木生産者、キリ栽培者

### 4 普及上の留意点

- (1) キリの成長は土壌条件により大きく異なる。玉植苗についても、表土が深く、排水性、通気性がよい適地(主な参考文献(2))に定植することで、より良好な初期成長が期待できる。

## II 具体的データ等



図-1 玉植苗



図-2 ポット資材

※左：外径 40cm のポット、右：外径 30cm のポット



図-3 定植 1 年後の樹高の様子

※左：大型の玉植苗（根鉢サイズ 18L）  
右：中型の玉植苗（根鉢サイズ 8L）

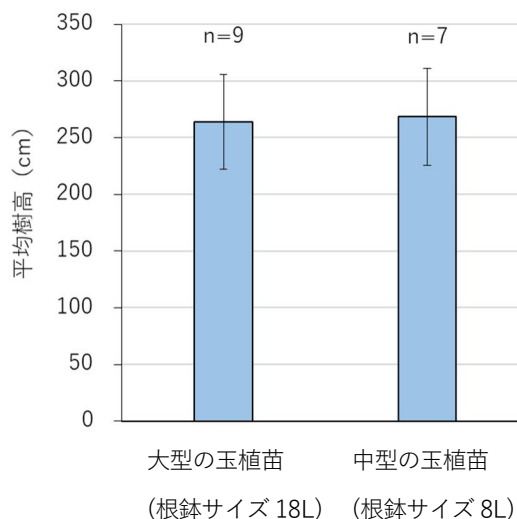


図-4 根鉢サイズ別の定植 1 年後の平均樹高 (cm)

※n=個体数、バーは標準偏差

## III その他

### 1 執筆者

大竹由起

### 2 成果を得た課題名

- (1) 研究期間 令和 2～6 年度
- (2) 研究課題名 キリ栽培省力化に関する研究

### 3 主な参考文献・資料

- (1) 手代木徳弘, キリ玉植苗の開発, 福島県林業研究センター研究報告, 54, 2022.
- (2) 福島県林業振興課, 会津桐の栽培技術指針, 平成 9 年 3 月.